

芹澤 隆道 SERIZAWA Takamichi



研究分野：東南アジア史（とくにフィリピン）、日本近代史

キーワード：歴史叙述、歴史認識、知の生産、アジアと日本

研究トピックス：

敗者から見た歴史、歴史研究をめぐるポリティクス

研究の要旨：

これまで私は戦争に勝った国が、戦争に負けた国の歴史を、勝った側の都合の良いように、どのように作り変えてきたのかということに関心をもってきました。私が専門としているフィリピン史と日本近代史は、いずれもアメリカ合衆国に戦争で敗れた後、発展、民主主義、自由を謳うアメリカ支配を正当化する新しい歴史が導入されたという共通性を持っています。広く知られているように第二次世界大戦中、日本軍はフィリピンに数多くの被害や犠牲をもたらしました。この真実をしっかりと記憶し、悲惨な歴史を繰り返さないと考えることは重要だと思います。ですがアメリカ軍もフィリピンを日本軍から奪回する際に、数多くのフィリピン人の犠牲を生み出しました。この真実はあまり知られておりません。なぜ日本軍の暴力は記憶され、アメリカ軍の暴力は忘却されてきたのでしょうか？「悪い」日本軍からフィリピンを救った「正義」のアメリカ軍として記憶されてきたからです。敗者はこの新しい歴史を受容することで自らを作り変えていったのですが、敗者同士の間でこの経験を共有する回路は、歴史学者たちの間でこれまであまり議論されてきませんでした。敗者同士が共通の敗北経験をつながってしまうことは、勝者にとって不都合でしょうし、そのつながりを可視化させない仕組みを効果的に利用してきたのかもしれない。拙著 *Writing History in America's Shadow: Japan, the Philippines, and the Question of Pan-Asianism* では、フィリピン人と日本人が共有する敗北経験を比較することを妨げてきた仕組みを、「アメリカの影」として概念化し、その暗闇のなかでフィリピンや日本の知識人、歴史家たちはどのような交流をしてきたのか、あるいは交流できなかったのかについて論じました。

主な関連業績：

1. Serizawa, Takamichi. *Writing History in America's Shadow: Japan, the Philippines, and the Question of Pan-Asianism*. Singapore & Kyoto: National University of Singapore Press, Kyoto University Press, 2020.
2. Serizawa, Takamichi. "Translating Philippine History in America's Shadow: Japanese Reflections on the Past and Present during the Vietnam War." *Journal of Southeast Asian Studies* 50, no. 2 (2019): 222-45. doi:10.1017/S0022463419000274.
3. 芹澤隆道「アメリカの影の下の共有された歴史—小笠原、フィリピン、日本—」、『クアドランテ：四分儀：地域・文化・位置のための総合雑誌』21号、30-41頁、2019年

[教員紹介へのリンク](#)

[教員データベースへのリンク](#)